

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

滋賀県 地域ワークショップ 報告書

2019（平成31）年1月22日（火）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」滋賀県ワークショップが開催されました。当日は、滋賀県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方10名（小学校2名、中学校2名、高等学校1名、特別支援学校5名）及び推進校ではない学校の先生方2名と滋賀県県民生活部スポーツ局の方々にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2019（平成31）年1月22日（火）13時30分～16時40分

会場：滋賀県庁東館大会議室

主催：滋賀県教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：12名

プログラム：

13:30～13:40 開会の挨拶

滋賀県教育委員会事務局 保健体育課 参事 樋口 康之 氏

13:40～14:00 オリンピック・パラリンピック教育推進校の実践報告（皇子山中学校）

14:00～14:30 分科会

14:30～15:30 パラリンピック教育の手法について

日本財団パラリンピックサポートセンター 田代 純一 氏

15:30～15:35 休憩

15:35～16:25 パラスポーツ体験（ボッチャ）

滋賀県ボッチャ協会 事務局長 田中 康隆 氏

16:25～16:40 事業のまとめ

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 研究員 岡田 悠佑 氏

開会行事では、滋賀県教育委員会事務局保健体育課参事の樋口康之氏より挨拶がありました。次に、推進校の先生より、実践報告が行われました。



樋口 康之 氏



実践校の報告

推進校の先生による実践報告の後に、推進校の取り組みの検討会が行われました。滋賀県では、小学校、中学校、高等学校を対象とした「アスリート招聘事業」と特別支援学校を対象とした「運動機会の充実促進事業」の2つの取り組みを行ってきました。「アスリート招聘事業」は、オリンピック・パラリンピアンを学校に招聘し、講演や実技指導を行っていただく事業です。「運動機会の充実促進事業」は、特別支援学校の児童・生徒の運動量が少ないという問題に対して、パラスポーツ関連の用具や情報を提供し、これまで以上に運動の機会を増やす取り組みをしていただく事業です。検討会では、それぞれの事業ごとに分かれて、具体的な取り組みの内容、実施上困難だったこと等について意見交換が行われました。



分科会の様子①

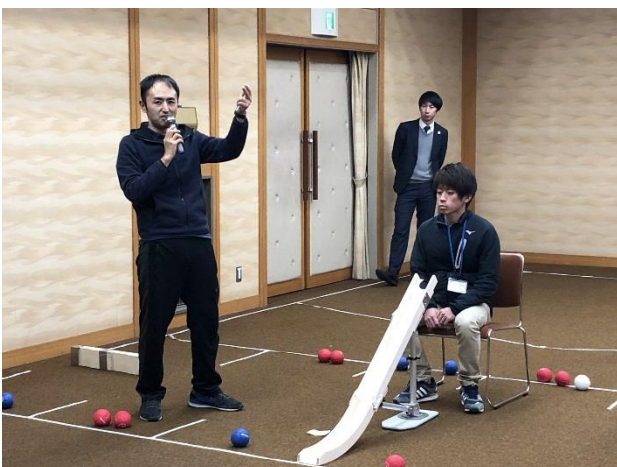


分科会の様子②

続いて、日本財団パラリンピックサポートセンターの方によるパラリンピック教育用教材「I'm POSSIBLE」の活用方法に関する講義が行われました。

講義の後には、ボッチャ体験会も行われました。初めてボッチャを体験する方もいらっしゃったことから、まずはルールを確認しながらボッチャを行いました。次に、学校でボッチャを実施する際の工夫の仕方、具体的には学校にある用具を活用したボッチャのコートの作り方や大人数のときのゲームの進め方などについて紹介がありました。先生方は、ボッチャに少しずつ慣れてきて、最後のほうでは、どこを狙ったらよいか、誰からスタートしたらよいか、などの様々なアイデアを出し合いながら、盛り上がっている様子でした。

最後に、本センターの岡田研究員より、まとめの挨拶があり、散会となりました。



ボッチャのルール説明



ボッチャ体験